

平成14年度 中山間地域等 直接支払制度 実施概要を お知らせします



白川家老沢地区



地域おこしを目指した「羽山まつり」開催
(白川犬卒都婆地区)



県内優良事例として白川犬卒都婆集落
太田会長が活動事例発表

白石市における該当地域
通常地域(地域振興立法の指定地域)
・小原(旧小原村)地区(特定農山村地域における農林業等の活性化のための基盤整備の促進に関する法律第2条第4項の規程に基づき指定)
特認地域(宮城県知事が自然的・経済的・社会的条件が不利な地域として指定)
・越河(旧越河村)地区、齋川(旧齋川村)地区、大鷹沢(旧大鷹沢村)地区、白川(旧白川村)地区、福岡(旧福岡村)地区



景観作物(ヒマワリ)作付け▶
(小原大鷹沢地区)

中山間地域等直接支払制度は、健全な農業・農村を維持・継続していくために、高齢化進行地域や農地が急傾斜地であったり、地形的条件により小区画・不整形であるなど、農業生産条件が不利な地域で一定の条件を満たした農地を有する集落内で集落協定を結び、農業生産活動や保全活動を行う場合に、5年間にわたって交付金を当該集落に交付する制度として、平成12年度から始まり、3年を経過しました。

この制度を活用し、各集落活動は協定参加者の創意工夫により行われ、地域の活性化および農村環境や景観の向上に効果を上げています。

平成14年度交付金交付状況

平成14年度に直接支払いの交付金を交付した市内の集落と交付金額は、右表のとおりです。

交付金の総額は、約1,644万円、交付した集落は10集落です。

また、交付金の負担割合は、通常地域の場合は国が1/2、県と市が1/4、特認地域にあつては国、県、市それぞれが1/3を負担しています。

交付金は、集落協定に基づき総額の約1/2以上を水路・農道などの維持管理、農地・農村の有する多面的機能を増進する活動や、集落の活性化に要する費用に使用され、残りの交付金は、現に農地を維持管理することとなる農地の耕作者に面積に応じて支払われています。

平成14年度中山間地域等直接支払交付金交付状況

地区名 (旧市町村名)	集落名 (協定集落名)	交付金の対象となつた農地面積(m ²)	交付金(円)
小原 (旧小原村)	大熊	55,735	1,013,382
	塩倉	161,894	3,399,774
	沼田	65,821	1,382,241
	下戸沢	20,438	429,198
大鷹沢 (旧大鷹沢村)	稲荷堂	18,881	151,048
	唐竹	41,478	871,038
	若林	12,566	263,886
白川 (旧白川村)	家老沢	113,208	2,010,872
	犬卒都婆	275,223	4,706,130
福岡 (旧福岡村)	上原	124,062	2,214,249
合計	10集落	889,306	16,441,818

肺炎球菌ワクチン予防接種を実施します

市では、高齢者に多い「肺炎球菌」による肺炎を予防するため、65歳以上の方を対象に、肺炎球菌ワクチン予防接種の補助を行います。

希望される方はかかりつけの医療機関にご相談ください。
(白石市・蔵王町・七ヶ宿町の医療機関で接種できます)



肺炎球菌ワクチン

1970年代にアメリカで開発され、日本では1988年に承認されました。肺炎などの感染症を引き起こす肺炎球菌には、84種類の型がありますが、肺炎球菌ワクチンは、このうち強力な23の型に対して免疫をつけることができます。

免疫の有効期間は5年以上といわれていますが、現在、日本ではこのワクチンの接種は1回だけと決められています。

実施期間 7月1日～10月31日
対象者 65歳以上の方で肺炎球菌ワクチン未接種者
(ただし、市内に住所を有する方)
接種料金 8,000円
(自己負担5,000円、市補助3,000円)

実施医療機関

白石市

海上内科医院・梅津内科医院・大沼医院・柿崎小児科医院・加藤小児科・加藤整形外科小児科医院・公立刈田総合病院・齋藤産婦人科医院・柴原耳鼻咽喉科医院・耳鼻咽喉科内科引地医院・白石今野病院・しろがね産科婦人科クリニック・仙南サナトリウム・たかはし内科クリニック・塚本内科消化器科・堤医院・引地泌尿器科内科クリニック・広瀬医院・三浦内科胃腸科クリニック・水野内科クリニック・宮城医院・やまきクリニック・亘理内科胃腸科医院

蔵王町

内方医院・大泉記念病院・国保蔵王病院・蔵王松本クリニック・さたけ整形外科・佐藤医院・武田医院

七ヶ宿町

七ヶ宿町国保診療所



[注意]

これまでに「肺炎球菌ワクチン」を接種したことのある方は、接種することはできませんので、ご注意ください。

予防接種の問い合わせ 健康推進課 ☎22-1362